

【資料2】

平成30年度 教育行政点検評価委員の意見
(平成29年度 取組事業に対する委員からの意見)

伊賀市教育行政評価委員会

第2回 平成30年10月1日

所 属	施 策	努力目標		取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
生涯学習課	生涯を通じ、生きがいを持ち活動できる	1	社会教育の推進	成人式開催	新成人を祝う式典を中学校区別に開催した。	参加率:73%	参加率:80%	1,560	継続	【加納委員】 ○中学校区での開催は、卒業して5年後の同窓会につながり好評で何よりだ。18歳成人となるときの2年間はどうか。ふるさと伊賀と出会いなおす機会となればよい。 【岩佐委員】 ○分散型では、不経済の面があると思いますが、希薄になりつつある地域とのつながりが持て良いと思う。 【東 委員】 ○新成人も参画して準備する式典にするというのはどうでしょうか。更に魅力的な成人式になるのでは。 【西井委員】 ○今後も、実行委員の声を大事にしながら、内容の充実をめざしていただきたい。 【藤本委員】 ○現在の学区別開催が定着し、概ね好評を得ていることを評価したい。18歳成人の時代を迎え、参加率増加に努力されたい。 【岡山委員】 ○引き続き地区別開催に賛成するが、事業予算に対し職員の人件費が勝るのは残念。ボランティア実行委員との問題あり。
		3	地域づくりの支援	生涯学習推進啓発事業	地域における学びのワークショップ(出前講習会・全体講習会)を開催した。	参加者数:167名	参加者数:150名	60	継続	【岩佐委員】 ○若者(中堅)が積極的に関われる企画は有効かと思いますが、年配者達の自己満足にならないよう望みます。
生涯学習課	部落差別をなくす	4	人権尊重の精神を培い、主体的に行動のできる人づくり	教育集会所交流事業	* 伊賀市教育集会所交流事業「みんなよつといで!」を実施した。 * 伊賀市高校生・青年人権学習交流会を実施した。	参加者アンケートの満足度:99.56%	参加者アンケートの満足度:90%	436	継続	【加納委員】 ○交流会は、仲間の存在とつながりを確認できる機会で大変有意義だと思う。ぜひ、継続を。 【岩佐委員】 ○より多くの青少年が参加しやすい取組みを。 【西井委員】 ○各教育集会所における地区学習会等の取組みを交流することは、当該児童はもちろん、彼らを支援する関係者にも、差別をなくすために多くの人々が参画しているとの実感と差別をなくしていく展望を持たせるものであると思う。更なる充実を期待したい。
生涯学習課		8	人権問題啓発活動の推進	同和教育研究推進事業	* 関係機関と連絡調整を図り、人権同和教育活動を行った。 * 講演会、研修会、研究大会を開催した。	参加者数:8,665人	参加者数:8,500人	7,240	継続	【加納委員】 ○市民意識調査にある「他人ごと意識」を払拭するためにも、学習の場である講演会や学習の機会の充実を。 【岩佐委員】 ○人権同和教育について、マイナス的な問題ですが、プラス思考にして一人一人が生きる力、育つ力、育つための社会づくりを望みます。また、講演会、研修会等は同じような顔ぶれ傾向になっていないでしょうか。敬遠される難しい問題ですが、足を運ばない方へのアイデアを求めたい。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見	
いがまち公民館	部落差別をなくす	8	人権問題啓発活動の推進	同和问题啓発事業	(いがまち) * 学校人権同和教育研究会補助等 * 小中学校交流会補助 開催回数:小学校3.4.5年中学校1.2.3年各1回 参加者数:417人	12部会の開催 回数:60回 開催回数:小学校3.4.5年中学校1.2.3年各1回 参加者数:410人	12部会の開催 回数:60回 開催回数:小学校3.4.5年中学校1.2.3年各1回 参加者数:410人	343	継続	【西井委員】 ○「同和教育推進事業」並びに「同和问题啓発事業」全般について、大人になってからの「学び」が人権意識の向上に大きく影響していることが様々な学識調査でも明らかにされている。今後も学習、啓発活動の充実と継続を図りたい。 【岡山委員】 ○人権教育に関する評価については、私個人の各項目に対するコメントは差し控えます。理由としては、人権問題と同和问题、部落差別問題がほぼ同心円であり、他の人権問題には殆ど触れられないにも係わらずに年間を通じてあまりにも予算と時間が費やされすぎていると思います。日常の授業時間もとりにかねている上クラブ活動の削減まで行う今日、あまりにもバランスが悪くないでしょうか。それぞれの分野でそれぞれに行うのではなく、内容と目的、対象を精査し効率のよい事業を進めることが大事であると思います。
青山公民館					(青山) * 同和教育推進協議会活動研修会等 * 同和问题講演会等 * 人権のつどい * 人権啓発地区別懇談会 開催回数:21回 参加者数:214人 開催回数:1回 参加者数:200人 開催回数:10回 参加者数:183	開催回数:21回 開催回数:1回 参加者数:300人 開催回数:1回 参加者数:300人 開催回数:10回 参加者数:200	0	継続		
いがまち公民館					(いがまち) * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 公民館人権研修会 開催回数:2回 参加者:435人 蔵書数:336冊 開催回数:1回 参加者数:35人	開催回数:2回 参加者:800人 蔵書数:350冊 開催回数:1回 参加者数:70人	20	継続		
阿山公民館					(阿山) * 人権作文・ポスター展示 * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 人権同和问题学習講座 開催回数:1回 来館者数:436人 開催回数:10回 来館者数:5,173人 開催回数:1回 蔵書数:203冊 開催回数:4回 参加者数:527	開催回数:1回 来館者数:450人 開催回数:12回 来館者数:6,000人 開催回数:1回 蔵書数:210冊 開催回数:4回 参加者数:500	118	継続		
大山田公民館					(大山田) * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 文化講演会 * サークル団体等人権研修会 開催回数:12回 蔵書数:242冊 開催回数:1回 参加者数:45人 参加者数:30人	開催回数:12回 蔵書数:250冊 開催回数:1回 参加者数:50人 参加者数:40人	0	継続		

所 属	施 策	努力目標		取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
青山公民館	差別をなくす	8	人権問題啓発活動の推進	同和問題啓発事業	(青山) * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 公民館人権研修会	開催回数:12回 参加者数:4,450人 開催回数:2回 開催回数:2回 参加者数:60人	開催回数:12回 参加者数:4,500人 開催回数:2回 開催回数:2回 参加者数:60人	0	継続	
生涯学習課	子どもや若者が、健やかに成長する	5	青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	青少年健全育成事業	* 第10回「輝け！いがっ子フォトコンテスト」を実施し、輝け！いがっ子憲章を周知・啓発した。 * 子どもに読書に親しむ機会を提供し、家庭での読書活動の大切さを働きかけ、子どもの読書活動を推進した。 * 伊賀地区こどもわかもの育成支援のための支部研修会、伊賀市青少年ネットワークづくり研修会等を開催した。 * 青少年健全育成推進大会人形劇「プッペンポップなにつくろ？、あかずきんちゃん」を開催した。 * 伊賀市青少年育成市民連絡会議へ補助し、地域住民との交流、世代間交流、自然の中での体験など各団体の特色を生かす事業を実施した。 * 青少年非行防止活動強化月間(7月)、子ども・若者育成支援強調月間(11月)、未成年者喫煙防止キャンペーンとして青少年健全育成市内一斉活動を実施した。	青少年健全育成推進大会(人形劇・講演会) 参加者数:198人	青少年健全育成推進大会(人形劇・講演会) 参加者数:200人	7,637	継続	【加納委員】 ○青少年犯罪は、減少の傾向と聞いているが、生活背景の厳しい子ども達や子育てに悩む親世代にとって、地域のあたたかい気配りが貴重なよりどころだ。一人一人の子どもを「社会の子」として育む取組みは継続を。 【岩佐委員】 ○マンネリ化に注意し、新しい視点での実施に。
			青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	放課後子ども教室推進事業	* 伊賀市内で3つの放課後子ども教室の支援を行った。	教室1回あたりの平均利用児童数(全教室計): 40人	教室1回あたりの平均利用児童数(全教室計): 40人	4,047	継続	【加納委員】 ○放課後子ども教室と放課後児童クラブとの連携を工夫して子育ての支援につなげてほしい。 【岩佐委員】 ○働く女性が多くなり、不可欠と思います。更に子ども達の安全を見守っていただきたい。 【藤本委員】 ○ボランティアスタッフの確保に地域連携を進められるよう貴重な取組みであり、行政的な努力を強化されたい。 【岡山委員】 ○今後更に利用希望者が増えると考えられるが、その具体的な対策が不可欠では？放課後児童クラブとの連携も必要？

所 属	施 策	努力目標		取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
生涯学習課	青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	5	青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	青少年センター運営経費	＊街頭補導活動：毎月4回の定時補導等を実施した。 ＊青少年相談活動：市広報などを通して、電話や面談による青少年相談活動の周知に努めた。 ＊環境浄化活動：青少年に有害な環境点検のパトロールを三重県任命立入調査員の協力を得て、コンビニエンスストア・書店・小売店へ出向き、低俗な広告物・有害玩具・不良環境などの排除への協力を依頼した。	被補導少年数：0人	被補導少年数：0人	5,048	継続	【藤本委員】 ○補導、下校パトロールの日時を考慮し、発生事例に沿った日程調整に努力されたい。 【岡山委員】 ○定時補導の成果は大いにあると思うが、年々多様化や個人の宅内でのネットによる青少年問題が多くなる現状での対策が必要ではないか。
いがまち公民館	子どもや若者が、健やかに成長する	5	青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	青少年健全育成事業	(いがまち) ＊夏、冬の体験教室 ＊小中学生下校時パトロール ＊非行防止夏季夜間パトロール ＊家庭教育講演会	開催回数：2回 参加者数：87人 (冬期末) 開催回数：18回 開催回数：1回 参加者：53人 開催回数：1回 参加者数：36人	開催回数：2回 参加者数：100人 開催回数：18回 開催回数：1回 参加者：45人 開催回数：1回 参加者数：50人	—	継続	
島ヶ原公民館					(島ヶ原) ＊青少年非行防止パトロール ＊非行防止事業 ＊体験型学習	開催回数：19回 参加者数：113人 開催回数：1回 参加者数：45人 開催回数：16回 参加者数：526人	開催回数：19回 参加者数：160人 開催回数：1回 参加者数：50人 開催回数：8回 参加者数：300人	—	継続	
阿山公民館					(阿山) ＊青少年非行防止パトロール ＊人づくり市民会議事業連携	開催回数：4回 参加者数：59人 開催回数：12回 参加者数：387人	開催回数：4回 参加者数：60人 開催回数：12回 参加者数：390人	—	継続	
大山田公民館					(大山田) ＊むらびとづくり推進会議事業連携	開催回数：8回	開催回数：8回	—	継続	
青山公民館					(青山) ＊防犯ネットワーク会議 ＊小中学校下校時パトロール ＊青山青少年育成会議事業連携	開催回数：2回 開催回数：85回 開催回数：8回	開催回数：2回 開催回数：85回 開催回数：11回	—	継続	

所 属	施 策	努力目標	取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
上野公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	通年講座(悠々・脳足筋)	開催回数:17回、参加者数:896人	開催回数:17回、参加者数:800人	150	継続	【岩佐委員】 ○サークルの育成?、サークルとは自然に仲間が集い楽しむためのものだと思いますが・・・育成まで必要なのでしょうか。 【藤本委員】 ○講座や教室は時代にあった内容や日程設定に引き続き努めてほしい。
				パソコン教室	開催回数:10回、参加者数:98人	開催回数:10回、参加者数:100人	100	継続	
				初めての講師サポート事業	開催回数:16回、参加者数:140人	開催回数:18回、参加者数:130人	6	完了	
				小学生のための学びの教室	開催回数:5回、参加者数:84人	開催回数:3回、参加者数:45人	24	継続	
				青少年健全育成事業	開催回数:5回、参加者数:639人	開催回数:5回、参加者数:600人	1,508	継続	
				ふるさと学習事業	開催回数:7回、参加者数:102人	開催回数:6回、参加者数:100人	100	継続	
				いがっこ通信発行	発行回数:3回	発行回数:3回	4	廃止	
				干支の春展	参加者数:556人	参加者数:350人	52	継続	
				サークルまつり	サークル数:24	サークル数:24	0	継続	
				公民館サークルの育成	回数:2回	回数:2回	120	継続	
				上野分館活動事業	分館数:21、事業数:45	分館数:21、事業数:45	6,188	継続	
				公民館一般講座	開催回数:45回、参加者数:925人	開催回数:36回、参加者数:970人	240	継続	
				公民館こども講座	開催回数:14回、参加者数:171人	開催回数:13回、参加者数:380人	36	継続	
いがまち公民館				読み聞かせ会	開催回数:30回、参加者数:620人	開催回数:30回、参加者数:650人	45	継続	

所 属	施 策	努力目標	取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
いがまち公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7	やまなみ文化協会育成	*生涯学習機会の場を提供するため各種講座・教室を開催	回数:2回	回数:2回	299	継続	【東 委員】 ○出前サークル活動(仮称)を各市民センターなどを借りてやるなど自治協議会と連携してやって欲しい。 各地域でもそういった活動を待っている住民はおられると思います。 【岡山委員】 ○元々合併前から市町村それぞれで行ってきた事業が多いと思うが、これはこれとして継続しながらも、伊賀市全体として統一できるものがあるれば、実施してみるのも良いのではないかな。
			やまなみ文化祭		開催回数:1回、参加団体数:13団体	開催回数:1回、参加団体数:13団体	71	継続	
			いがまち展覧会		開催回数:1回、出展者数:998人	開催回数:1回、出展者数:998人	20	継続	
			いがまち分館(柘植公民館)活動事業		分館数:1、開催回数:0	分館数:1、開催回数:0	0	継続	
島ヶ原公民館			健康体操教室・園芸教室・初心者のパソコン教室・彩々教室・歴史文学講座	*生涯学習機会の場を提供するため各種講座・教室を開催	開催回数:27回、参加者数:315人	開催回数:25回、参加者数:350人	154	継続	
			絵本の読み聞かせ教室		開催回数:19回、参加者数:521人	開催回数:20回、参加者数:530人	36	継続	
			文化サークルまつり演芸会		開催回数:1回、参加者数:105人	開催回数:1回、参加者数:110人	20	継続	
			文化作品まつり展覧会		開催回数:1回、参加者数:595人	開催回数:1回、参加者数:600人	28	継続	
			公民館サークルの育成		回数:3回	回数:3回	165	継続	
阿山公民館			一般対象講座	*生涯学習機会の場を提供するため各種講座・教室を開催	開催回数:8回、参加者数:73人	開催回数:6回、参加者数:60人	480	縮小	
			こども対象講座		開催回数:39回、参加者数:563人	開催回数:40回、参加者数:580人	183	継続	
			あやま芸能まつり		開催回数:1日、参加者数:483人	開催回数:1日、参加者数:500人	140	継続	
			あやま展覧会		開催回数:3日、参加者数:1,101人	開催回数:3日、参加者数:1,200人	9	継続	
			公民館サークルの育成		回数:8回	回数:8回	360	継続	
			読み聞かせ会		開催回数:28回、参加者数:173人	開催回数:24回、参加者数:130人	15	継続	

所 属	施 策	努力目標	取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
大山田公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	一般対象講座	開催回数:14回、参加者数:261人	開催回数:15回、参加者数:250人	54	継続	
				子ども対象講座	開催回数:12回、参加者数:217人	開催回数:14回、参加者数:210人	36	継続	
				リズム運動教室(園児対象)	開催回数:7回、参加者数:238人	開催回数:6回、参加者数:210人	72	継続	
				サークルの育成	回数:3回	回数:3回	200	継続	
				芸術文化祭(芸能大会)	*生涯学習機会の場を提供するため各種講座・教室を開催	参加団体数:12団体	0	継続	
				芸術文化祭(展覧会)		出展者数:900人	0	継続	
				読み聞かせ会(図書室)		開催回数:24回、参加者数:270人	36	継続	
				読み聞かせ会(大山田小学校)		開催回数:42回、参加者数:1,700人	36	継続	
				読み聞かせ会(子育て支援センター)		開催回数:5回、参加者数:145人	0	継続	
				まなびあおやま(一般)講座	*生涯学習機会の場を提供するため各種講座・教室を開催	開催回数:16回、参加者数:248人	60	継続	
青山公民館				まなびあおやま(こども)講座		開催回数:6回、参加者数:211人	0	継続	
				図書室公開講座『おはなし広場』		開催回数:8回、参加者数:472人	24	継続	
				地域芸術向上支援事業		開催回数:2回、参加者数:120人	60	継続	
				地域学習講座(青少年育成)		開催回数:6回、参加者数:250人	97	継続	
				読み聞かせ会(青山図書室)		開催回数:18回、参加者数:391人	0	継続	
				読み聞かせ会(青山小学校等)		開催回数:40回、参加者数:1,000人	12	継続	

所 属	施 策	努 力 目 標		取 組 事 業 名	事 業 概 要 (平成29年度の取組内容)	指 標 29年度実績値	指 標 30年度目標値	決 算 額 (千円)	内 部 評 価 (方向性)	評 価 委 員 の 意 見
青 山 公 民 館	生 涯 を 通 じ 、 生 き が い を 持 ち 活 躍 で き る	7	生 涯 学 習 の 機 会 や 場 の 提 供 を 図 り 、 活 動 内 容 の 充 実	文化サークル連協芸能発表会	＊生涯学習機会の場を提供するため各種講座・教室を開催	開催回数：1回、 参加者数：400人	開催回数：1回、 参加者数：400人	70	継続	
				ふるさと美術文化展覧会		開催回数：1回、 参加者数：382人	開催回数：1回、 参加者数：380人	0	継続	
				公民館サークルの育成		回数：2回	回数：2回	0	継続	
				青山分館活動事業		分館数：6、事業 数：44	分館数：6、事業 数：44	1,259	継続	

所 属	施 策	努力目標	取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
教育 集会所	部落 差別をなくす	9	人権同和教育の推進	* 地域ぐるみの同和教育総合実践活動事業 (崇広中学校区ヒューマンフェスタ)	(八幡) 開催回数:1回 参加者数:2,000人	(八幡) 開催回数:1回 参加者数:1,800人	380	継続	【西井委員】 ○9「人権同和教育の推進」全般に関わって、これまで伊賀市は、「伊賀市における部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に関する条例」に則り、「市民意識調査」や「生活実態調査」を定期的実施し、それらの結果を人権施策に反映させられてこられました。その真摯な姿勢に敬意を表します。そして、現在も市内の様々な地域で人権意識を向上させるための取組みが積極的に展開されています。そうした事業の開催回数や参加者数を指標として取組みの成果や課題を考えることは当然ですが、ともすると、そうした施策が本当に必要な人に届いているのか気になることもあります。数値的な把握と共に、市の人権施策が市民の暮らしにきちんと届いているのか、市民の願いに立脚したものになっているのか、さらなる実態把握と検証をお願いしたいと思います。
				* 人権同和教育相談事業	(寺田) 開催回数:5回 参加者数:5人	(寺田) 開催回数:10回 参加者数:10人	-	継続	
				* 中瀬ふれあい夏祭り人権トーク&コンサート * 寺田フィールドワーク * 小中人権同和教育講演会	(寺田) 開催回数:9回 参加者数:1,554人	(寺田) 開催回数:10回 参加者数:1,400人	489	継続	
				* 城東中学校区小学校3・6年生人権学習会 * 城東中学校1年生人権学習会	(寺田) 開催回数:10回 参加者数:597人	(寺田) 開催回数:9回 参加者数:540人	-	継続	
				* 寺田教育を考える保護者の会 * 保小中高連絡会 * 中瀬城東保育園・支部・教集三者懇談会 * 中瀬小学校・支部・教集三者懇談会 * 城東中学校・支部・教集三者懇談会	(寺田) 開催回数:32回 参加者数:478人	(寺田) 開催回数:25回 参加者数:450人	-	継続	
				* 伊賀地区校区連絡会議	(まえがわ) 開催回数:10回 参加者数:118人	(まえがわ) 開催回数:10回 参加者数:120人	まとめ決算額 (5,653)	継続	
				* 大山田保育園解放保育懇談会 * 大山田小学校教育懇談会 * 大山田中学校教育懇談会	(奥馬野) 開催回数:3回 参加者数:81人	(奥馬野) 開催回数:3回 参加者数:83人	-	継続	
				* 青山学校同和教育推進委員会	(老川) 開催数:年11回 延べ参加者数:104人	(老川) 開催数:年11回 延べ参加者数:110人	5	継続	
				* 保小中同和教育実践交流会	(老川) 開催数:年5回 延べ参加者数:89人	(老川) 開催数:年5回 延べ参加者数:90人	7	継続	

所 属	施 策	努力目標	取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
教育 集会所	部 落 差 別 を な く す	9	人権同和教育 の推進	* 推進委員会 * 実践報告書作成 * 推進委員会だより発行	(老川) 開催数: 年1回 参加者数: 7人 発行: 年1回 発行: 年3回	(老川) 開催数: 年1回 参加者数: 7人 発行: 年1回 発行: 年3回	181	継続	
					(八幡) 開催回数: 46回 参加者数: 312人	(八幡) 開催回数: 34回 参加者数: 200人	136	継続	
				* 生活講座、識字教室	(まえがわ) 開催回数: 108回 参加者数: 1,081人	(まえがわ) 開催回数: 110回 参加者数: 1,100人	まとめ決算額	継続	
					(奥馬野) 開催回数: 27回 参加者数: 124人	(奥馬野) 開催回数: 20回 参加者数: 100人	89	継続	
				* 生活講座、識字教室	(老川) ・生活講座 開催数: 年20回 延べ参加者数96人 ・識字教室 開催数: 年24回 延べ参加者数: 93人 ・パソコン教室 開催数: 年24回 延べ参加者数: 97人	(老川) ・生活講座 開催数: 年20回 延べ参加者数110人 ・識字教室 開催数: 年22回 延べ参加者数: 90人 ・パソコン教室 開催数: 年22回 延べ参加者数: 90人	161	継続	
					(八幡) 開催回数: 31回 参加者数: 1,194人 (八幡小学春・夏・冬休み子ども教室)	(八幡) 開催回数: 32回 参加者数: 1,100人 (八幡小学春・夏・冬休み子ども教室)	26	継続	
				* 小学生地区学習会	(寺田) 開催回数: 29回 参加者数: 996人 (寺田教科学習会) 開催回数: 25回 参加者数: 209人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数: 77回 参加者数: 811人 (寺田絵本読み聞かせ会)	(寺田) 開催回数: 31回 参加者数: 1,000人 (寺田教科学習会) 開催回数: 25回 参加者数: 200人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数: 65回 参加者数: 750人 (寺田絵本読み聞かせ会)	70	継続	

所 属	施 策	努力目標		取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
教育 集会所	部落 差別を なくす	9	人権同和教育 の推進	* 小学生地区学習会	* 部落差別に負けない差別を許さない子どもを育てるために、地区の歴史を学び、人権感覚豊かな仲間づくりを行った。	(下郡) 開催回数:41回 参加者数:629人	(下郡) 開催回数:41回 参加者数:608人	86	継続	
					* 部落差別に負けない差別を許さない子どもを育てるために、地区の歴史を学び、人権感覚豊かな仲間づくりを行った。	(前川) 開催回数:41回 参加者数:1,561人	(前川) 開催回数:41回 参加者数:1,600人	まとめ決算額	継続	
					【小学区地区学習会】 * 地域の人々の暮らしや歴史を学び、差別を許さない確かな認識や豊かな人権時感覚をもった仲間づくりを進め、基礎学力をつけ未来を切り開く進路保障の取り組みを進めた。 【ライトピア解放子ども会】 * 事業は奥馬野・中馬野・坂下地域の小学生およびその保護者が対象である。地域のつながりを深め、夏休み・冬休み・春休みには学習会を実施し学力の補充を行い、児童と保護者が参加できる体験活動を通じて仲間づくりや交流を進めた。	(奥馬野) 開催回数:20回 参加者数:407人	(奥馬野) 開催回数:20回 参加者数:400人	349 287	継続	
				* 中学生地区学習会、高校生友の会	* 将来の展望を持ち、仲間とともに自己実現を図っていく学習会の開催	(八幡) 開催回数:43回 参加者数:712人	(八幡) 開催回数:35回 参加者数:600人	192	継続	
					* 部落差別に負けない仲間づくりを進めるために、地域の思いを知り、人権リーダーの意識や行動力を育てた。	(下郡) 開催回数:33回 参加者数:478人 (下郡高校生友の会) 開催回数:5回 参加者数:25人	(下郡) 開催回数:34回 参加者数:501人 (下郡高校生友の会) 開催回数:12回 参加者数:72人	71	継続	
					* 地域の人々の暮らしと歴史を学び、差別を見抜き差別をなくす仲間づくりと人権感覚豊かな子どもの育成を図った。	(寺田) 開催回数:35回 参加者数:457人 (寺田教科学習会) 開催回数:50回 参加者数:360人 (寺田高校生友の会) 開催回数:12回 参加者数:30人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数:3回 参加者数:107人	(寺田) 開催回数:36回 参加者数:450人 (寺田教科学習会) 開催回数:47回 参加者数:350人 (寺田高校生友の会) 開催回数:12回 参加者数:30人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数:4回 参加者数:100人	197	継続	

所 属	施 策	努力目標	取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	* 中学生地区学習会、高校生友の会	(まえがわ) 開催回数: 90回 参加者数: 1,281人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数: 4回 参加者数: 158人	(まえがわ) 開催回数: 90回 参加者数: 1,300人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数: 4回 参加者数: 160人	まとめ決算額	継続	【岩佐委員】 ○開催回数が90回となると、4日に1回？毎週末に2回？具体的な内容は。
				【中学校地区学習会】 * 地域の人々の暮らしや歴史を学び、差別を許さない確かな認識や豊かな人権時感覚をもった仲間づくりを進め、基礎学力をつけ未来を切り開く進路保障の取り組みを進めた。 【中学生高校生学習会】 * 事業は、中学生地区学習会に参加している生徒ならびにその卒業生が対象である。 * 夏休み・冬休み・春休みを利用して、確かな学力を身につけ進路を保障していくために、課題や復習問題に取り組む機会を提供した。地域在住の先輩や大学生等に講師を依頼することで、勉強だけでなく将来のキャリアデザインを描くアドバイスも行っている。	(奥馬野) 開催回数: 29回 参加者数: 216人 (中学生高校生学習会) 開催回数: 13回 参加者数: 53人	(奥馬野) 開催回数: 30回 参加者数: 180人 (中学生高校生学習会) 開催回数: 13回 参加者数: 39人	254 13	継続	
			* 人権教育講演会、学習会	* 奨学生と保護者、学校関係者に対して、奨学金の意義と人権同和問題に対する理解を深めた。	(八幡) 開催回数: 2回 参加者数: 154人	(八幡) 開催回数: 2回 参加者数: 100人	60	継続	
				* 人権啓発地区草の根運動推進会議と人権同和問題講演会を共催し開催した。 * 地域の教育関係者、保護者を対象に、同和教育学習会を開催した。 * 人権教養講座を開催した。	(下郡) 人権と平和学習会 開催回数: 2回 参加者数: 52人 依那古草の根会議 開催回数: 1回 参加者数: 218人 上野南中学校区学習会 開催回数: 1回 参加者数: 76人 人権教養講座 開催回数: 1回 参加者数: 52人	(下郡) 人権と平和学習会 開催回数: 2回 参加者数: 50人 依那古草の根会議 開催回数: 1回 参加者数: 200人 上野南中学校区学習会 開催回数: 1回 参加者数: 110人 人権教養講座 開催回数: 1回 参加者数: 80人	30 30	継続	
				* 人権教育講演会の開催(いがまち同研大会・記念講演会)	(まえがわ) 開催回数: 1回 参加者数: 757人	(まえがわ) 開催回数: 1回 参加者数: 800人	まとめ決算額	継続	

所属	施策	努力目標		取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	* 人権教育講演会、学習会	* 青山管内の保育園・小学校・中学校の教職員の人権意識の向上を図った。	(老川) 開催数: 年3回 延べ参加者数: 180人	(老川) 開催数: 年3回 延べ参加者数: 200人	75	継続	

所 属	施 策	努力目標	取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
上野図書館及び分館図書室	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	1	市民の学習活動の支援	図書館管理経費 図書室管理運営経費 ・図書館の利用促進	* 市民の生涯学習の場として、蔵書や資料の充実、提供に努めた。 * 図書館未利用者の利用を促進するための事業を実施した。 * 市内小中学生を対象に職場体験や施設見学の受入を行なう中で、図書館への親しみや利用促進に繋げた。	貸出利用者数計:90,604人	貸出利用者数計:91,450人		【加納委員】 ○指標とした貸出冊数は目標値を達成しているが、図書館を活用する市民の幅を広げることが必要。図書館(室)が市民にとってさらに身近な存在になるための尽力を。子どもたちの読書活動支援につなげるためにも、家庭の文化として図書館を利用することが位置づくような取組みを期待する。 【東 委員】 ○英語教育の低年齢化に伴い、英語図書の充実も考えて欲しい。 【西井委員】 ○情報がめまぐるしく変化する社会の中で、図書を充実させることはより重要になると思われます。図書内容の充実や情報の刷新に一層努めていただきたい。
						上野:75,374人	上野:76,000人	-	
						いがまち:3,740人	いがまち:3,700人	-	
						島ヶ原:422人	島ヶ原:450人	-	
						阿山:3,020人	阿山:3,000人	-	
						大山田:3,747人	大山田:3,800人	-	
						青山:4,301人	青山:4,500人	-	
		2	・図書の貸出	*「図書室だより」や分館図書室の広報誌等で、新着図書、おすすめ図書の紹介や催し物等開催情報の発信を行った。 * 図書館情報システムの連携や上野図書館及び分館図書室間での相互貸借・返却を行なうほか、定期的な配送サービスを行なうことにより、利便の向上を図った。 * 地域の特性を活かした図書室運営を行い、身近な図書室ならではの読書活動推進に努めた。 * 校園長会などを通じて団体貸出のPRを行った。	貸出冊数計336,387冊	貸出冊数計341,350冊			
					上野:287,114冊	上野:290,000冊	-	充実	
					いがまち:12,688冊	いがまち:12,800冊	-	継続	
					島ヶ原:1,009冊	島ヶ原:1,050冊	-	継続	
					阿山:10,873冊	阿山:11,000冊	-	継続	
					大山田:11,464冊	大山田:12,500冊	-	継続	
					青山:13,239冊	青山:14,000冊	-	継続	
			・図書配送サービス	* 上野図書館及び分館図書室のネットワークを強化し、図書館情報システムの連携や配送サービスを整えることにより、市民がどこでも図書を借りることができるなど利便性の向上を図った。 * 島ヶ原図書室へ上野図書館所蔵の準新刊の一部を配置した。	配送書籍数計23,727冊	配送書籍数計24,350冊			
					上野:8,112冊	上野:8,200冊	-	継続	
					いがまち:4,455冊	いがまち:3,900冊	-	継続	
					島ヶ原:1,111冊	島ヶ原:1,150冊	-	継続	
					阿山:3,479冊	阿山:5,100冊	-	継続	
					大山田:4,123冊	大山田:3,500冊	-	継続	
					青山:2,447冊	青山:2,500冊	-	継続	
		3	読書活動の支援と充実	・読み聞かせ会等の実施	* 子どもが本に親しみ、親子での読み聞かせの機会をつくるため、図書館(室)ボランティアグループと協働し、定期的かつ継続的に絵本、紙芝居の読み聞かせを実施した。 * 学校での読書活動推進のため、司書等が学校へ赴き、読み聞かせやブックトークを行なう中で、読書に興味を持つきっかけづくりの支援を行った。	開催数計:306回	開催数計:303回		【岩佐委員】 ○各実施内容を更に吟味し、より質向上を目指して取り組んでいただきたい。 【東 委員】 ○夜の図書館、読み聞かせ活動など努力されていると思います。 【岡山委員】 ○この数字から、ボランティア皆様の努力がうかがわれます。
						上野:80回	上野:80回	-	
						いがまち:30回	いがまち:36回	-	
						島ヶ原:19回	島ヶ原:20回	-	
						阿山:28回	阿山:24回	-	
						大山田:68回	大山田:63回	-	
						青山:81回	青山:80回	-	

所 属	施 策	努力目標		取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
上野図書館及び分館図書室	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	3	読書活動の支援と充実	・特集コーナーの設置	* 特集コーナーでは一般と児童に分けて流行の時事や興味のあるテーマを選び、毎月関連のある図書を揃えて利用促進を図った。 * 地域活動、伊賀鉄道、芭蕉、いがっこフォトコンテスト、人権週間など、市の各課が担当する事業の紹介や伊賀の歴史に関する展示を行った。	特集実施数計 124回	特集実施数計 130回			
						上野:43回	上野:40回	-	継続	
						いがまち:13回	いがまち:24回	-	継続	
						島ヶ原:13回	島ヶ原:15回	-	継続	
						阿山:12回	阿山:12回	-	継続	
						大山田:24回	大山田:20回	-	継続	
						青山:19回	青山:19回	-	継続	
				・読書感想文コンクールによる読書活動啓発事業	* 読書普及のため読書感想文コンクールを実施し、表現力や想像力を培う取り組みを行った。	応募数:370点	応募数:370点	142	継続	【岡山委員】 ○活字を読むということが遠ざかっているよう感じます。目標値を上げて努力してほしい。
		4	資料の収集と活用の推進	・資料の収集と活用	* 新刊図書などを購入して資料の充実に努めた。 * 古文献整理調査や古文書に関するレファレンス(調べもの相談)に努めた。	図書購入冊数計:6,852冊	図書購入冊数計:6,730冊			【岩佐委員】 ○古文書の専門書の充実を、伊賀の特色を生かし、信頼性と価値を見い出していきたい。
						上野:5346冊	上野:5,400冊	7,169	充実	
						いがまち:443冊	いがまち:300冊	435	継続	
						島ヶ原:39冊	島ヶ原:30冊	28	継続	
						阿山:346冊	阿山:350冊	249	継続	
						大山田:326冊	大山田:250冊	256	継続	
						青山:352冊	青山:400冊	384	継続	

所 属	施 策	努力目標	取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
学校 教育課	子どもたちが、 未来に夢や希望を持てる	1・21 創造的で活 力ある学校、 地域とともに ある学校づく り 創造的で活 力ある園づく りの推進	地域とともに学校マニフェ スト推進事業	○各小中学校(園)に学校評議員、学校評価 委員を配置し、家庭や地域と連携し、地域や 社会に開かれた学校づくりを推進した。 ○学校運営協議会の運営により、保護者と地 域住民等の学校運営への参画を促し、学校、 保護者、地域住民が一体となって心豊かで健 やかな子どもたちの育成を図った。 ○学校支援地域本部事業を推進し、学校と地 域が一体となって子どもたちを育て、地域とと もにある学校づくりを進めた。	設置者による評 価値 小中学校 85.0 点 幼稚園 85.0 点	設置者による評 価値 小中学校 85.0 点 幼稚園 85.0 点	14,309	継続	【加納委員】 ○地域と共にある学校づくりには、学校任せにならず、教育行政機関が リーダーシップを発揮して、積極的な学校支援を。 【岩佐委員】 ○多様化する現代において保護者が学校に求める形が変化し、集団生活 での学校としてのあり方の基本を理解してもらう必要があります。その上で 育成を図る。 【東 委員】 ○地域の人への開かれた学校づくりをされていると思います。今後もパト ロール、声かけなどを市民に呼びかけてほしい。 市町で活躍されている大人たちの講演(お話し)なども子どもたちに聞かせる 場を持ってください。 【西井委員】 ○様々な社会問題が顕在化し、子どもたちの成長に大きな影響を与えるな か「地域とともにある学校づくり」を推進している関係者の皆様のご努力に 敬意を表します。「学校地域本部事業」の推進状況は、地域によって様々だ と思いますが、29年度の特徴的な取組みをいくつか示していただきたい。
				○学力向上推進事業、人権同和教育研究事 業、キャリア形成事業の三事業を実施し、各 小中学校長が作成する「学校マニフェスト」の 実現を図った。	「人の役に立つ 人間になりたい 」と思える児 童生徒の割 合:92%	「人の役に立つ 人間になりたい 」と思える児 童生徒の割 合:97%		継続	【岩佐委員】 ○形式にこだわらない独自のアイデアで、取り組んで欲しい。
		2・22 確かな学力 の形成 生活体験に 即し、興味や 欲求を生か した適切な 指導	学力向上推進事業	○各小中学校で学力向上アクションプランを 作成し、計画・実行・評価・改善のサイクルを 定着に努めた。 ○伊賀市学力向上プロジェクト委員会を実施 し、課題の分析、解決に向けた取り組みへの 提言等をおこなうとともに、学力向上改善研 修会を開催した。 ○小学校5年生、中学校1年生で標準学力検 査を実施した。 学力向上アドバイザーを各小中学校に派遣し た。 ○「家庭学習・読書のすすめ」を作成し、小学 校1年生、中学校1年生に配付した。 ○全国学力・学習状況調査(国費)、みえスタ ディ・チェック(県費)を実施した。	標準学力検査 における市内小 中学校の平均 点の全国比 小学校:104 中学校:98.2	全国学力・学習 状況調査におけ る市内小中学校 の平均点の全 国比 小学校:105 中学校:100	2,414	継続	【加納委員】 ○読書量が少ない、家庭での学習時間が少ないという弱みの克服につな げるために、「家庭学習・読書のすすめ」は、配るだけにならないよう配慮 を。 【東 委員】 ○学力向上はもちろん望ましいですが、学習についていけない子どものシ グナルを見逃さずクラス全体の学力アップを目指してほしい。 【西井委員】 ○平均点の向上も、もちろん大切だが、厳しい学力層への手立てを丁寧 にお願いしたい。 【岡山委員】 ○現在のように情報があふれる程豊かで、かつ、すぐに入手できる時代で ありながら、学力、常識力の低下には、目に余るものがあります。少しでも 目標を高く設定されたい。
			教職員研究研修経費	○部会別教育研究活動の充実を図った。 ○職場教育研究交流会、夏季教育講演会を 開催した。 ○研究指定校研究推進事業の充実を図っ た。(久米小学校、友生小学校、大山田小学 校、青山小学校、青山中学校)	研修講座への 参加人数 参加者数:1,504 人	研修講座への 参加人数 参加者数:1,500 人		継続	【加納委員】 ○教職員が教科指導技術を鍛え、教材研究を深める貴重な場としての部 会別教育研究活動の充実を。 【岩佐委員】 ○本来の授業に力を入れたくとも、雑務やさまざまな対応に追われ時間に 余裕がないとよく聞きますが、教師が子ども達と向き合えることを第一に考 え、その上の選択肢として研修会や講演会に参加できる仕組みを希望しま す。

所 属	施 策	努力目標	取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
学校 教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	3人権・同和教育の積極的な推進及び差別解消に取り組む実践的な人間の育成	人権同和教育推進事業	○伊賀市人権同和教育基本方針に基づいた研究テーマを設定し、人権・同和教育の研究と実践を行った。 ＊幼稚園・小中学校全教職員で学校人権・同和教育部会を組織し、全市的に人権・同和教育の研究と推進を行った。	人権・同和教育の推進を「十分図れた」「図れた」学校数:31校	人権・同和教育の推進を「十分図れた」「図れた」学校数:31校	3,589	継続	【加納委員】 ○子ども達の発言に、地域や家庭に潜む払拭されない差別意識の存在が見える。真の「差別のない明るい伊賀市」の実現に向けて、ひるむことなく学校が発信源となって取組みを継続してほしい。 (岩佐委員) 地道な活動ゆえに、マンネリ化にならない工夫を。
		24人権・同和教育の推進			学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数:5回以上	学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数:5回以上		継続	【西井委員】 ○〈3〉・〈24〉 これまでの同和教育の財産を、とりわけ若い先生方に伝えていくことを意識した取組みや研修を実施していただきたい。
		4キャリア教育の推進	キャリア教育推進事業	○「自分発見！中学生・地域ふれあい事業」において、全10中学校で職場体験活動を実施した。 ○各学校における発達段階に応じた教育課程のあり方を研究した。 ○「伊賀市キャリア教育研修会」を開催し、児童生徒の社会的・職業的自立に向けた指導のあり方等について、研修を深めた。	自分の生き方や進路を深く見つめることが「大変できた」「できた」生徒の割合:86%	自分の生き方や進路を深く見つめることが「大変できた」「できた」生徒の割合:88%	2,386	継続	【加納委員】 ○生き方の教育として、他の部署との連携を図り、事業所の拡大等で学校支援をしてほしい。 【岩佐委員】 ○第三者の大人たちの中で、体験することはとても貴重な経験です。企業によく理解してもらい、より充実に。 【西井委員】 ○最近では、小学校でも「職場体験活動」を行うことが増えてきていると聞きます。小中連携の課題の克服も含め、中学校区事業として幅広い取組みを支援することを期待したい。 【藤本委員】 ○キャリア教育の長い実績の中で、良い例を生かせるよう、学校間の情報共有に努められたい。 【岡山委員】 ○キャリア教育は、実社会への目の向け方や対応の仕方に対する理解や、発見、自分を見つめ直す等、意義深いものである。地場の産業を理解し、将来を考える良い機会である。
		7生徒指導の充実及び健全な児童生徒の育成 23豊かな情操の芽生えと望ましい生活習慣の育成	生徒指導推進事業	○各学校において家庭訪問、巡視・補導、関連機関との連携・対応、捜査活動等の生徒指導活動に取り組むとともに、教育相談体制・生徒指導体制を整備し、教育相談員等と連携しながら問題行動の早期発見・早期の対応や未然防止に取り組んだ。 ○スクール・ソーシャル・ワーカーを2人配置し、学校からの要望に基づいて、家庭支援や制度利用支援を行っています。 ○全小中学校で学級満足度調査(Q-U調査)を試行し、調査の方法・活用等の理解を図った。 ○全学校にいじめ問題相談員を配置し、地域においてもいじめ問題に相談できる体制を作りに努めた。	小中学校における問題発生件数:20件	小中学校における問題発生件数:20件	4,026	継続	【加納委員】 ○教員が、Q-U調査等を有効活用して、担当している学級や子どもたちの状況を客観的に把握し、関係機関の支援を受け取り入れながら積極的に改善につなげることを期待する。さらに、子どものサインを見逃さず、子どもの願いを受け止める指導技術を身につける教職員の研修を。 【岩佐委員】 ○問題発生は、主に家庭の不穏が一番の原因だと思います。暖かな家庭作りのための社会教育と取組み、子どもの居場所を地域や学校で持てる策を。 【東 委員】 ○家庭への介入など難しさはありますが、学校での児童生徒の様子を注意深く見守り、職員、保護者、相談員との密接な関係で一人でも不登校をなくしてほしい。 【西井委員】 ○複雑化する社会の問題が子どもの生活に様々な影響を与え、貧困家庭の増加や虐待を受ける子どもの増加につながっていると聞きます。Q-U調査を継続して実施されるとともに、専門機関との日常的な連携も視野に入れつつ、教育相談体制や生徒指導体制の一層の充実を図られたい。 【岡山委員】 ○何といっても、いじめ問題が深刻である。昔と異なり陰湿極まりない事例が多い。ソーシャルワーカーの配置の増加と教員、親との連携が不可欠であると思う。

所 属	施 策	努力目標	取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
学校 教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	8 28 29 不登校児童生徒への理解と社会的自立に向けた支援の推進 教育相談の実施 不登校児童生徒の支援	不登校児童生徒支援事業	○伊賀市教育研究センター(ふれあい教室)で、不登校児童生徒に対する適応指導活動、児童・生徒及び保護者との教育相談活動を実施した。 ○不登校の実態把握に努めるとともに、教育相談に関わる教職員研修を実施した。	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合: 93%	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合: 94%	7,363	継続	【岩佐委員】 ○不登校となる子どもにしっかり寄り添え合う環境づくりを。 (西井委員) 「子どもの人権保障」の面からも、「ふれあい教室」の存在は益々重要となります。予算措置も含め、事業の更なる充実をお願いします。 【岡山委員】 ○不登校となった要因をいち早く調査し、上記と同じく連携を取って対処することが大切。カウンセラーの活用も重要。
		10 子どもたちの安全・安心の確保	教育振興一般経費	○教育活動サポーターの配置、自転車ヘルメットの配付・「子どもSOSの家」旗及び注意喚起看板等の購入により、児童生徒の安全を確保した。	伊賀市内の小中学生の交通事故発生件数 前年度差:-2件	伊賀市内の小中学生の交通事故発生件数 前年度差:-2件	23,254	継続	【岩佐委員】 ○車社会での危険性を更に促してください。 【藤本委員】 ○教育活動サポーターの役割は、子どもにとって非常に有意義なので、今後とも良い人材確保に努められたい。
		11 ・ 26 特別支援教育の充実 個別の支援を要する幼児についての深い理解と実態に即した適切な指導	特別支援教育充実事業	○教育支援員、特別支援教育支援員を配置し、児童生徒のニーズにあった支援を行う体制を作った。 ○児童生徒の正しい理解のために専門機関による巡回相談を実施し、適切な支援につなげた。	生活学習支援員・特別支援教育支援員配置: 41.5人	教育支援員・特別支援教育支援員配置: 42人	58,615	継続	【加納委員】 ○通常学級に在籍する個別の支援が必要な児童生徒に適切なかかわりや声掛けを。 各学校において、コーディネーターを中心に据えた特別支援教育の体制づくりの本格化を。 支援学級在籍生徒の高校進学にかかる不安の解消と適切な進路指導を。 【西井委員】 ○子ども一人一人の多様な課題に、決め細かな指導と支援ができるよう、教育支援員の増員も含め、適切な配置をお願いしたい。
		13 外国人児童生徒に対する教育の充実と多文化共生教育の推進	外国人児童生徒支援事業	○初期適応指導教室(チャレンジ教室)を開校した。 ○「外国人児童生徒と保護者のための進路ガイダンス」を実施した。 ○日本語指導者研修会を開催した。 ○外国人児童生徒日本語指導補助員を配置した。 ○日本語指導コーディネーターを派遣した。 ○教育相談、保護者への説明の際の通訳派遣、翻訳支援を実施した。	進路ガイダンス 外国人小中学生・保護者参加者数: 166人 ※評価シート 高校進学率: 82%	進路ガイダンス 外国人小中学生・保護者参加者数: 人 170 ※評価シート 高校進学率: 85%	9,029	継続	【岩佐委員】 ○外国人が増加傾向の中、受け入れ側の日本の子ども達にも外国の魅力を知る交流につなげられる工夫を望みます。 【西井委員】 ○外国人の子どもの生活保障や進路保障を考える上で、「初期適応指導教室」と「進路ガイダンス」は大きな柱だと捉えられます。双方の内容のいっそうの充実を図られたい。 【藤本委員】 ○出身国や母語の多様化に合った教員研修と人材育成、学校内体制作り に努められたい。 【岡山委員】 ○言葉の壁による相互理解の難しさがあるが、できるだけ親身になって、対応することが大切だと思う。外国人児童に対しては、杓子定規ではなく個人それぞれに対して対応する必要あり。
		14 外国語教育の推進	英語指導助手招へい経費	○外国語活動指導助手(JETプログラム事業)を各中学校へ派遣した。 ○外国語活動指導助手(直接任用)を各小学校へ派遣した。 ○小学校外国語指導者研修会を実施した。	・中学校1クラスあたりのALT派遣日数:8.6日 ・小学校1クラスあたりの外国語活動指導助手派遣日数:16日(5・6年)	・中学校1クラスあたりのALT派遣日数:8日 ・小学校1クラスあたりの外国語活動指導助手派遣日数:24日(5・6年)、8日(3・4年)	19,512	継続	【藤本委員】 ○小学校の職員がニーズに応じて、英語のレベルアップが図れるよう、研修機会の増に努めてほしい。

所 属	施 策	努力目標		取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	27	教育研究の推進充実	教育研究センター管理運営費	○教育研究センターの管理運営を行った。 ・学校教育及び社会教育関係者の研修会等を開催した。 ・教職員、学校、地域の連携を支援に努めた。	会議室使用延べ人数: 10,686人	会議室使用延べ人数: 11,000人	6,422	継続	【加納委員】 ○教職員が指導力を向上させる機会は、「初任者研修」と「教職経験者研修」にとどまってしまうことが多い。教職員が指導技術を磨き、教材研究を深めることのできる研修会の積極的な開催を。 【岩佐委員】 ○意義ある研修会を望みます。 【西井委員】 ○教職員の研修の拠点施設であり、保護者からの相談にも対応できる重要な施設でもあります。取組みの更なる充実を目指していただきたい。
給食センター	子どもたちが、安心して学べる	20	学校給食の充実	学校給食管理事業	* 夏季・冬季に衛生管理講習会を実施し、職員の食品管理意識の高揚を図った。 * JA等物資納入業者と連携し、物資の確保や価格の調整を図り地場産品の優先購入に努めた。 * 地元食材の紹介「給食だより」の発行を行うとともに、伊賀市HPの学校教育ネットワークに中学校給食の献立表を掲載を行った。 * 施設見学、職場体験を受入れ、学校給食業務の啓発を行った。 * 学校保健委員会への残渣資料の提供を行った。	地場産食材(県内産・伊賀産)購入率(年間平均) 3月末現在 3センター平均 28.0% ・いがっこ給食センター夢: 31.0% ・阿山給食センター:27.0% ・大山田給食センター:26.0%	地場産食材(県内産・伊賀産)購入率(年間平均) 3センター平均: 30.0% ・いがっこ給食センター夢: 30.0% ・阿山給食センター:30.0% ・大山田給食センター:30.0%	174,799	継続	【加納委員】 ○「食足りて礼節を知る」、中学校給食の実施は、安心して学校生活を送ることにつながっている。実際、中学校給食完全実施以降、中学校の問題行動がずいぶん減少した。 市民から期待される衛生管理の徹底と安心安全な食材によるおいしい給食の提供を継続して欲しい。 評価指標について、地産地消も大事だが、学校教育活動の中の学校給食として、児童生徒や保護者の声を指標としてはどうか。アレルギー対応、除去食や代替食の達成率、あるいは、測定日を決めたその日の残渣の状況などを入れてはどうか。 【岩佐委員】 ○地場産食材の促進と共に、調味料の安心安全性に配慮していただきたい。 給食だよりも読みたくなる工夫や、食べることに對してのワークショップや講座の生きた食育を望みます。(年1回でも) 【東 委員】 ○食物アレルギーを持つ児童などに対しても安心できる給食であるよう管理を徹底していただきたい。 【岡山委員】 ○地場産食材の購入率は大切であると思うが、この数字にとらわれすぎて他のことがおろそかになっても問題である。

所 属	施 策	努力目標		取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
教育総務課	子どもたちが、安心して学べる	1	校区再編事業の推進	長田・新居小学校再編計画 新居小学校既設校舎改築事業	* 統合校舎建設のため、既設校舎解体工事及び建築工事	進捗率:30%	進捗率:50%	459,325	継続	【加納委員】 ○義務教育の場としての適正規模について市民に理解を求め、地域合意と参画のもと積極的な取組みを。 【藤本委員】 ○耐震工事と増改築工事の調整を行いつつ、工事費の効率化に努めてほしい。
				阿山地区小学校再編計画	* 阿山小学校と玉滝小学校の統合協議	進捗率:80%	進捗率:85%	0	継続	
				上野南部地区小学校再編計画	* 依那古小学校と神戸小学校、比自岐小学校の統合協議	進捗率:5%	進捗率:10%	0	継続	
		2	学校（園）施設の整備充実	阿山小学校北校舎改修事業	* 阿山小学校北校舎大規模改修工事	進捗率:50%	進捗率:100%	0	継続	【加納委員】 ○学習環境は、子どもたちの意欲を引き出し、積極的な学びを生み出すために重要。手洗い場などの衛生状況などにも差があるように思うので、老朽化した施設は早急の改修を。
				上野西小学校屋内運動場改修事業	* 上野西小学校屋内運動場改修工事設計業務委託	進捗率:0%	進捗率:20%	0	継続	
				新小学校給食センター建設事業	* 新給食センターの整備を行うため、民間事業者の決定及び基本設計、実施設計業務	進捗率:25%	進捗率:30%	12,003	継続	

所 属	施 策	努力目標	取組事業名	事業概要 (平成29年度の取組内容)	指標 29年度実績値	指標 30年度目標値	決算額 (千円)	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
文化財課	歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	1 2 3 郷埋文 土蔵化 の文財 文化に 化財関 遺のす 産保る の護諸 保護と 活用資 と料の 活用集 ・保存 及び 活用	文化財保存経費	＊文化財保護審議会(2回)、文化財保護指導委員会(1回)を開催し、1件を新たに文化財として指定した。 ＊指定文化財の調査・管理、史跡の草刈など環境整備業務を実施した。 ＊指定文化財の保存修理に補助金を支出した。 ＊オオサンショウウオをはじめ天然記念物の保護に努める。 ＊指定文化財の説明看板を1ヶ所設置した。 ＊書籍『伊賀市の文化財』を販売し、文化財の啓発に努める。	指定文化財の調査管理:65件	指定文化財の調査管理:50件	7,146	継続	【加納委員】 ○市民は、地元の貴重な歴史を意外と知らないでいる。ふるさとの価値ある文化財の存在を広く伝える活動にも積極的に。 【岩佐委員】 ○保護的なものにとどまらず、文化財の楽しみ方等を一般向けに興味をわかす工夫を望みます。 【東 委員】 ○伊賀の各地域に残る伝統行事”講”など無形的文化財にも調査、保護などの対策を進めて下さい。また、地域の文化財の保護、修復にも予算が投入されるよう望みます。 【藤本委員】 ○外国人客が、多い史跡については、英語等の説明書も充実されたい。
				＊県指定文化財春日神社拝殿の解体修理事業(解体・埋蔵文化財調査・耐震基礎工事・木工事)を助言・指導・監督した。	工事進捗率18%	工事進捗率36%	9,200	継続	
				＊国重要文化財猪田神社本殿の保存修理事業(屋根葺き替え)の事業化に向けて助言・指導・監督した。	工事進捗率0%	工事進捗率59%	0	継続	
			文化財施設維持管理経費	＊直営2館、指定管理4館の文化財施設を適切に維持管理し、入館者を増やすよう啓発に努めた。	入館者数11.97人／日	入館者数13.40人／日	25,231	継続	【岩佐委員】 ○伊賀市文化都市協会の指定管理について、近年めまぐるしく様ざまなイベントが実施され、文化財施設の認知も増えてきましたが、伊賀市の人口密度に対し、開催数や、内容が多く空回り傾向に感じます。少ないと貴重に思え、多いと希薄になりやすい心理を読みながら今後も実施していただきたい。 【藤本委員】 ○外国人客が多い場所については、英語等の説明書も充実されたい。
			埋蔵文化財発掘調査経費	＊民間・公共の開発事業に対し、適切な埋蔵文化財の発掘調査を実施し、記録に残す。	調査実施件数1件	調査実施件数1件	510	継続	
			上野城高石垣計測事業	＊崩落の危険性が高まっている上野城高石垣を定点測量し経過を観察した。	測量実施地点数13点	測量実施地点数16点	220	継続	
			歴史まちづくり事業	＊伊賀市歴史的風致維持向上計画に基づき、3重点区域の歴史まちづくり事業の調整を図った。	計画進捗率5%	計画進捗率10%	178	継続	
			伊賀国庁跡保存整備事業	＊公有地化を実施した用地の除草作業等環境整備を実施した。	史跡整備進捗率:10%	史跡整備進捗率:15%	1,350	継続	